

平成24年6月13日

各 位

会社名 株式会社シード  
代表者 代表取締役社長 浦 壁 昌 広  
(コード番号 7743・JASDAQ)  
問い合わせ先 取締役管理本部長 鎌田 清  
TEL 03-3813-1111 (大代表)

Pureな<sup>eye</sup>愛をありがとうプロジェクト

## コンタクトレンズの売上から 333 万円を盲導犬育成に初の寄付

当社では、平成23年7月より、視覚障害者の自立に繋がる盲導犬の育成を助成するため、「Pureな愛（eye）をありがとうプロジェクト」を立ち上げ、当社使い捨てコンタクトレンズのシード ピュアシリーズの売上箱数に応じた寄付を行うことといたしました。

当支援における当社の思いを込めたキャッチフレーズ、「あなたの“見える”が、誰かの“見える”に」に対し、多くの方々のご賛同、ご理解をいただきました結果、初年度（平成23年度〔9ヶ月分〕）は、3,330,090円を公益財団法人アイメイト協会に寄付することとなり、去る6月5日、シード本社にて目録と感謝状の贈呈が行われました。同協会は国内最大の卒業実績をあげており、寄付金は盲導犬育成事業に充てられます。



アイメイト協会・塩屋隆男代表理事（右）と、シード・浦壁昌広社長（左）

当社は、国産の品質に拘ったコンタクトレンズの製造販売を通じて、お客様の“見える”をサポートするとともに、視覚障害者とアイメイト（盲導犬）とのパートナーシップ・信頼関係から生まれる“見える”もサポートしてまいります。

今年度も引き続き「Pureな愛（eye）をありがとうプロジェクト」を実施する予定で、盲導犬育成事業を支援するとともに、アイメイト協会と協力して視覚障害者の社会的自立に関する関心や理解を高めることを目指します。

<報道関係者様からのお問い合わせ先>

株式会社シード 経営企画室(広報担当：山口・大山・金澤)

TEL 03-3813-1650

【参考】

## Pureな愛<sup>eye</sup>をありがとうプロジェクト

### 【プロジェクト概要】

視覚障害は情報障害といわれています。

目からの情報が得られない為に、歩行に不自由をきたしますが、目の役割を担って視覚障害者の歩行、ひいては社会参加を助けるのがアイメイト（盲導犬）です。視覚障害者の方は、アイメイト（盲導犬）とともに、あたかも目を得たかのように一人で自由に外を歩行します。「Pureな愛（eye）をありがとうプロジェクト」は、そんな“見える”を、コンタクトレンズを通じてサポート。売上箱数に応じた寄付を行うことで、私たちがコンタクトレンズを装着して“見える”状態になることと同時に、視覚障害者の方の“見える”もサポートをしていくのが目的です。

### 【活動内容】

本プロジェクトは、売上箱数に応じた寄付を行うだけでなく、「あなたの“見える”が、誰かの“見える”」というキャッチコピーのもと、自社の広告、宣伝媒体、web、イベントを通じてアイメイト啓発活動を積極的に展開し、盲導犬の育成を助成してまいります。



### 【活動実績】

- 寄付金 3,330,090円（2011年7月1日～2012年3月31日分）
- 関連会社であるタワーマガネ、シードアイサービス店舗、取引先での募金箱設置
- 月2回のブログ更新による活動報告、啓発活動  
Pureな愛(eye)をありがとうプロジェクト公式ブログ <http://www.seed.co.jp/blog/eyemate/>

### ■ イベント参加

#### ・弊社協賛イベントでのアイメイト紹介、啓発活動

- 2011年10月 ママコレクション
- 2012年5月 ママコレクション
- 2012年5月 北海道札幌サメット

#### ・アイメイト関連イベントへの社員の参加

- 2011年7月 feels～カラダで感じる上映会～
- 2011年8月 アイメイト見学会
- 2011年10年 第35回アイメイト・デー
- 2011年11月 吉祥寺街頭募金
- 2011年11月 盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展 in上尾
- 2012年1月 全国スイーツマラソンin東京・お台場
- 2012年2月 北鎌倉ウォーキング&テラスランチwithアイメイト
- 2012年3月 ソサイチ大会(チャリティー)



**【使い捨てコンタクトレンズ シード ピュアシリーズ】**

シード ピュアシリーズを製造している鴻巣工場は、CO<sub>2</sub> 排出量削減、排水再利用による水使用量の削減、プラスチックのリサイクルなど、環境に配慮した技術と環境を備え、地球保全にも積極的に取り組んでおります。（ISO13485：2003 取得）



天然うるおい成分「アルギン酸」を配合した国産 1日使い捨てコンタクトレンズ

純国産の2週間交換コンタクトレンズ

純国産の遠近両用2週間交換コンタクトレンズ



純国産の遠近両用1日使い捨てソフトコンタクトレンズ  
自然な見え方を追求した光学設計です

**【公益財団法人アイメイト協会概要】**

代表理事：塩屋 隆男

所在地：東京都練馬区関町北 5-8-7

- 設立：1948年 塩屋賢一が目隠しの生活を体験しながら、盲導犬の育成方法を試行錯誤で始める
- 1950年 自宅に「日本盲導犬学校」を開き、「盲導犬研究会」を設立
- 1957年 塩屋賢一が国産第一号の盲導犬チャンピイを育成
- 1967年 日本盲導犬学校の土地を母体に(財)日本盲導犬協会が認可される
- 1971年 その後(財)東京盲導犬協会の設立許可を受ける（1989年4月にアイメイト協会に改称）

事業内容：アイメイト（盲導犬）育成、視覚障害者の歩行訓練等を通じた視覚障害者支援事業。

1957年に日本初の国産盲導犬第1号「チャンピイ」を育てた塩屋賢一（前理事長）が創設。東京都内（23区）にありながらも、全国の視覚障害者にアイメイト（盲導犬）を供給、その数は延べ1,177組にのぼります（2012.05.12現在）。

アイメイト協会では、「盲導犬」ではなく、「アイメイト」と呼んでいます。これは、「盲導犬」という言葉からは、“利口な犬が盲人を導いている”と受け取られがちですが、実際には十分に歩行指導を受けた視覚障害者からの指示を受け、人と犬とが協同で安全な移動を実現するのです。もちろん、その主体はあくまでも人にあります。そのため、アイメイト協会では、「私の愛する目の仲間」という意味を込め、「アイメイト」と呼んでいます。



アイメイト協会 ロゴマーク

URL：http://www.eyemate.org/



以上